

～2015年3月期決算説明会資料～

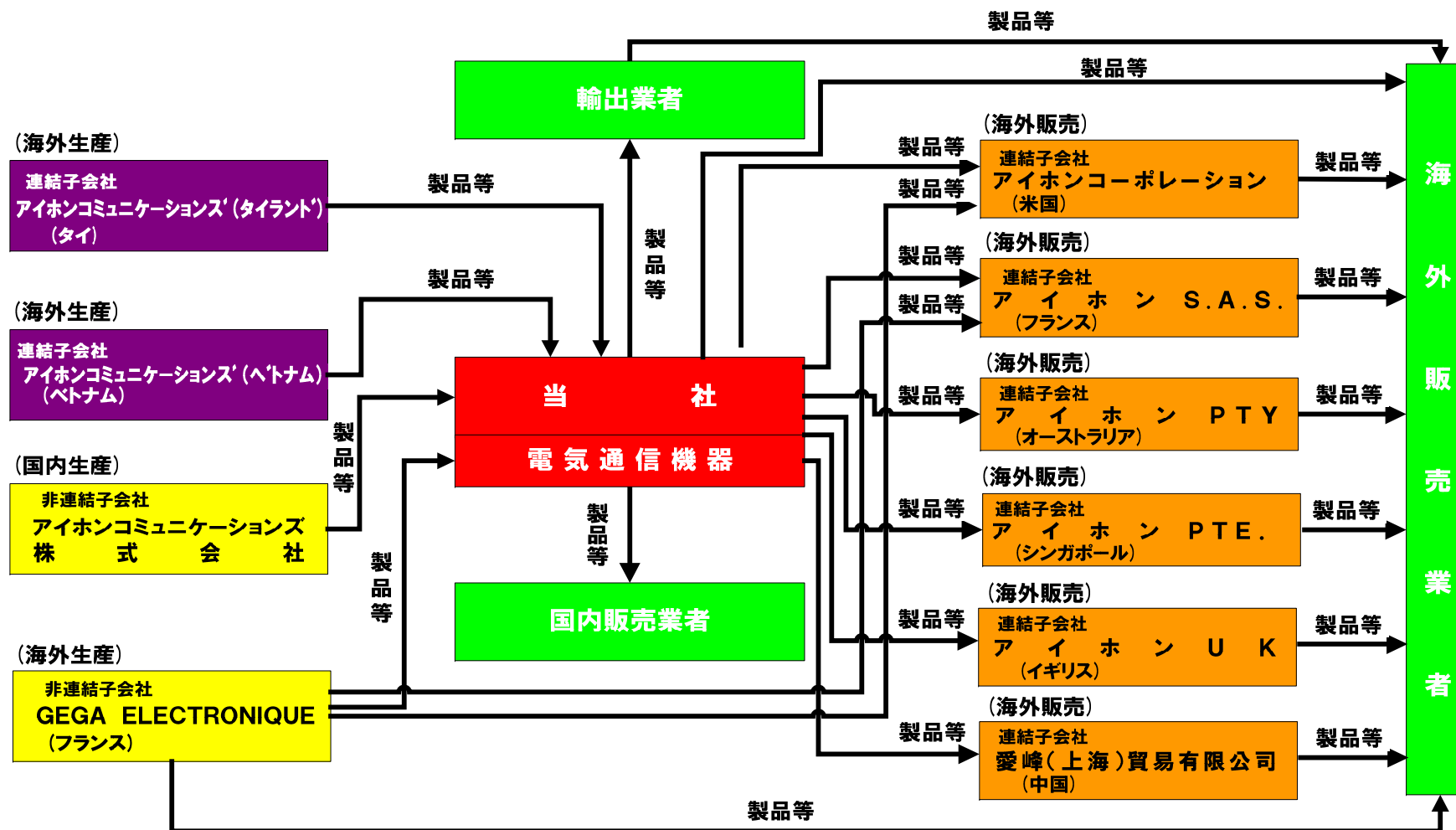


2015年 5月 29日

アイホン株式会社

1. 事業概要P.2
2. 2015年3月期決算報告P.4
3. 2016年3月期業績見通しP.17
4. 研究開発の状況P.18
5. 生産体制の状況P.19
6. 株主還元P.20
7. 中期経営計画P.23
8. 経営の方向性P.25
9. トピックスP.26

事業系統図（2015年5月現在）



ネットワーク(2015年5月現在)



連結決算実績

(百万円)



◆連結売上高	:前期比	2.2%減
◆営業利益高	:前期比	12.3%減
◆経常利益高	:前期比	16.8%減
◆当期純利益	:前期比	3.7%減

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
売上高	36,884	42,505	41,551
営業利益	2,401	3,384	2,969
経常利益	2,366	3,623	3,014
当期純利益	1,397	2,050	1,974

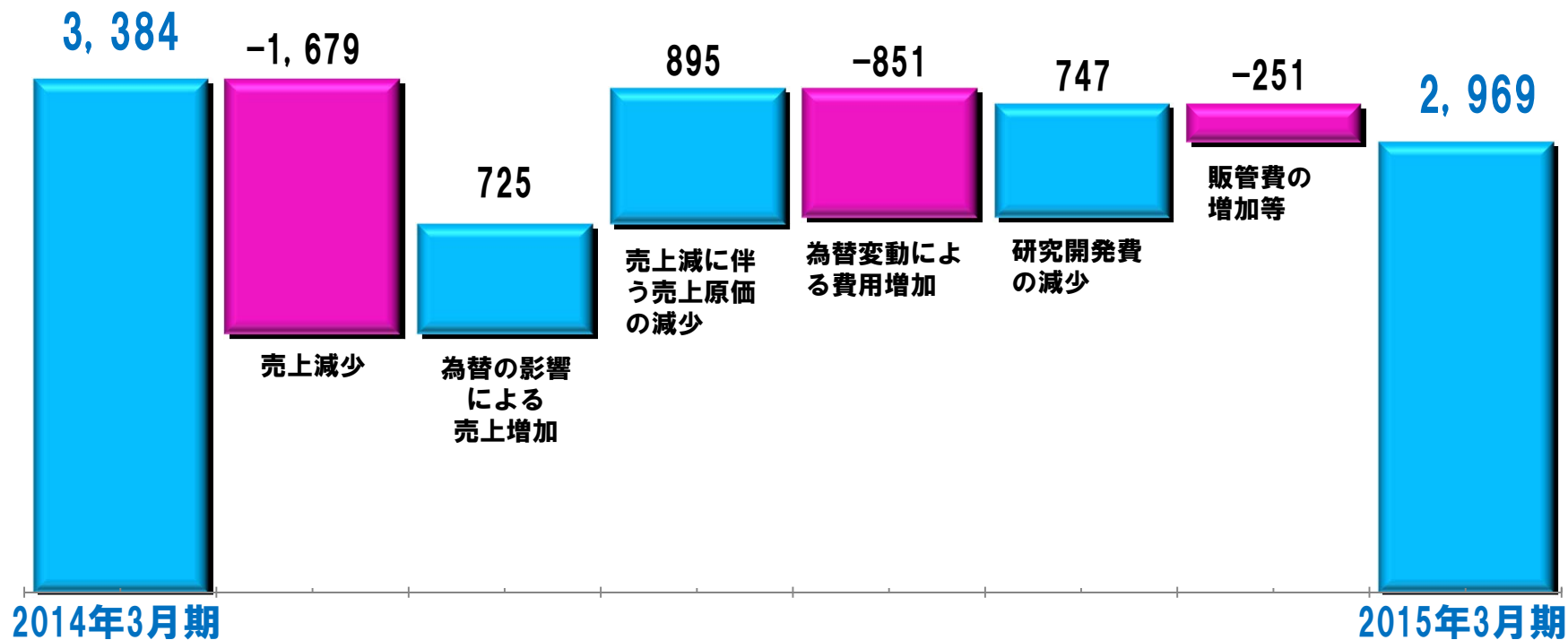
<ポイント>

1. 減収要因は、国内の住宅市場での売上が減少

 - ・消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動による影響から、戸建新築住宅市場の売上が減少するとともに、集合住宅市場におけるリニューアル売上が減少
 - ・ケア市場では新型ナースコールシステム「Vi-nurse」の市場投入効果等により、病院への売上が大幅に増加
 - ・海外の主力市場である米国において前年度の急速な需要拡大に一服感が見受けられ、現地通貨における売上は減少したが、円換算した売上は増加
 - ・欧州においては長期化する経済の低迷により、主要販売国であるフランスでの集合住宅向けシステムの売上が減少
2. 減益要因は、主力市場である集合住宅におけるリニューアル売上が減少

営業利益について

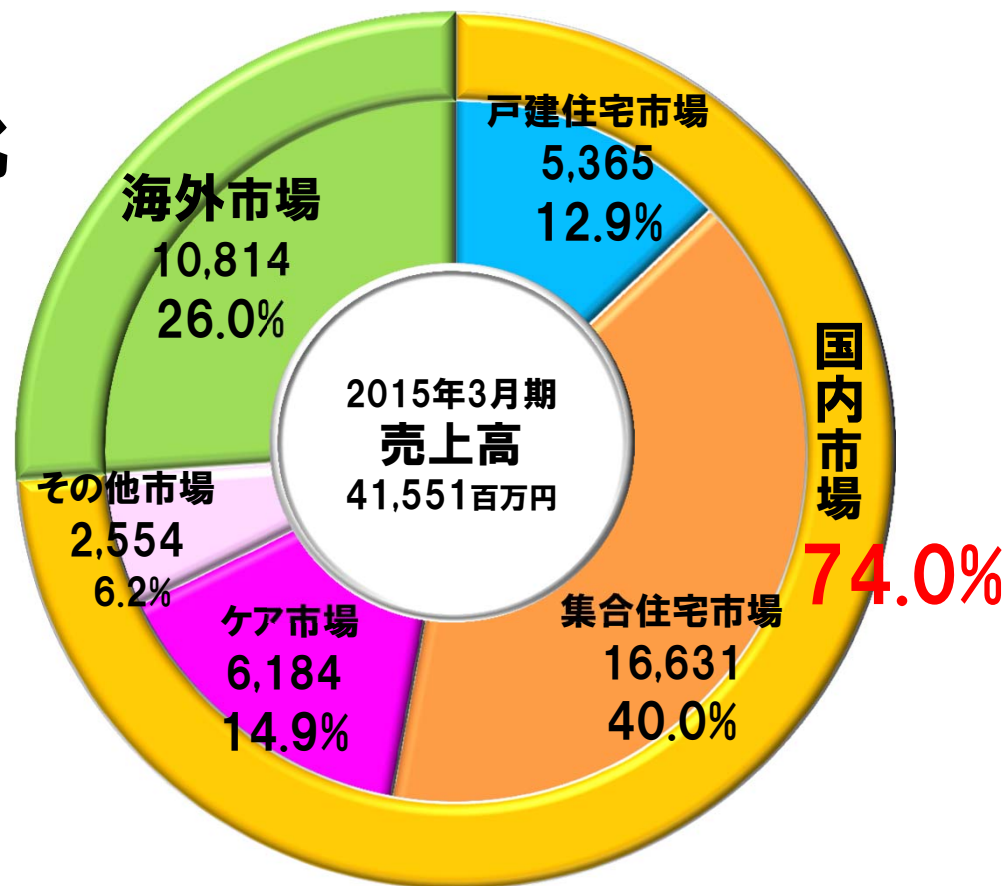
(百万円)



ポイント

営業利益は、リニューアル市場売上高の減少に加え、為替の影響により、4.1億円の減益。

販売市場別 連結売上高構成比

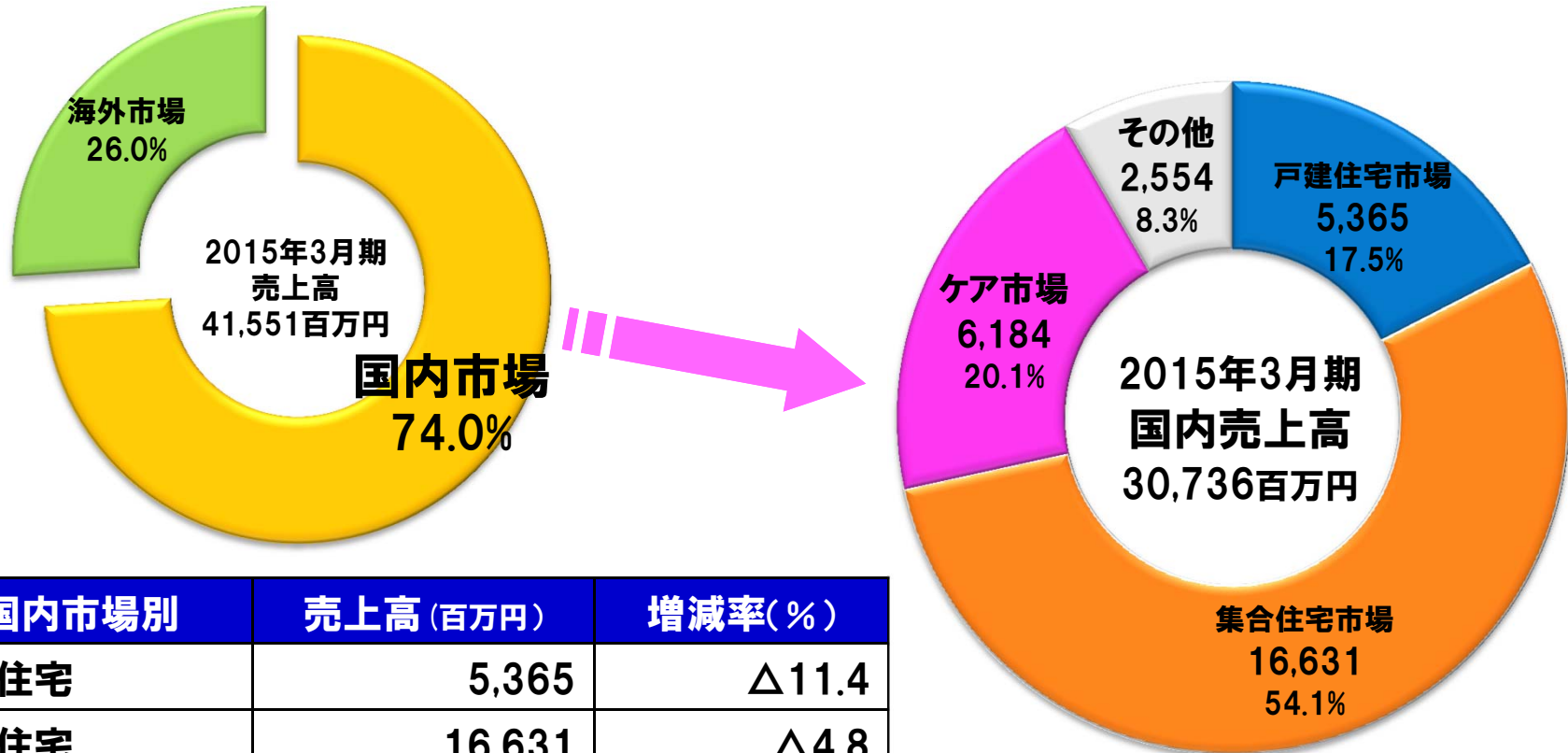


補 足

連結売上の減少について(前期比9.5億円の減少、 $\Delta 2.2\%$)

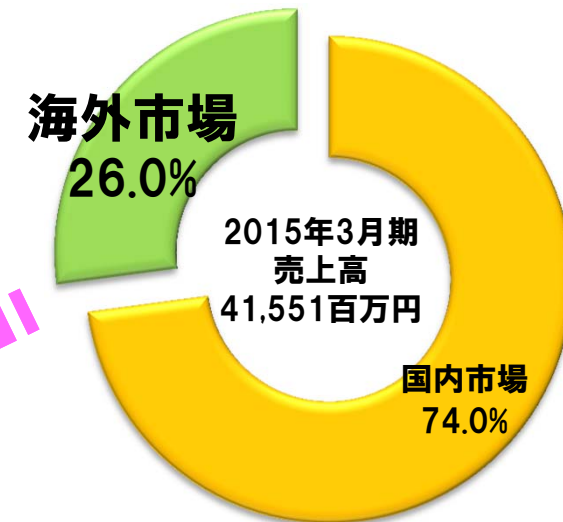
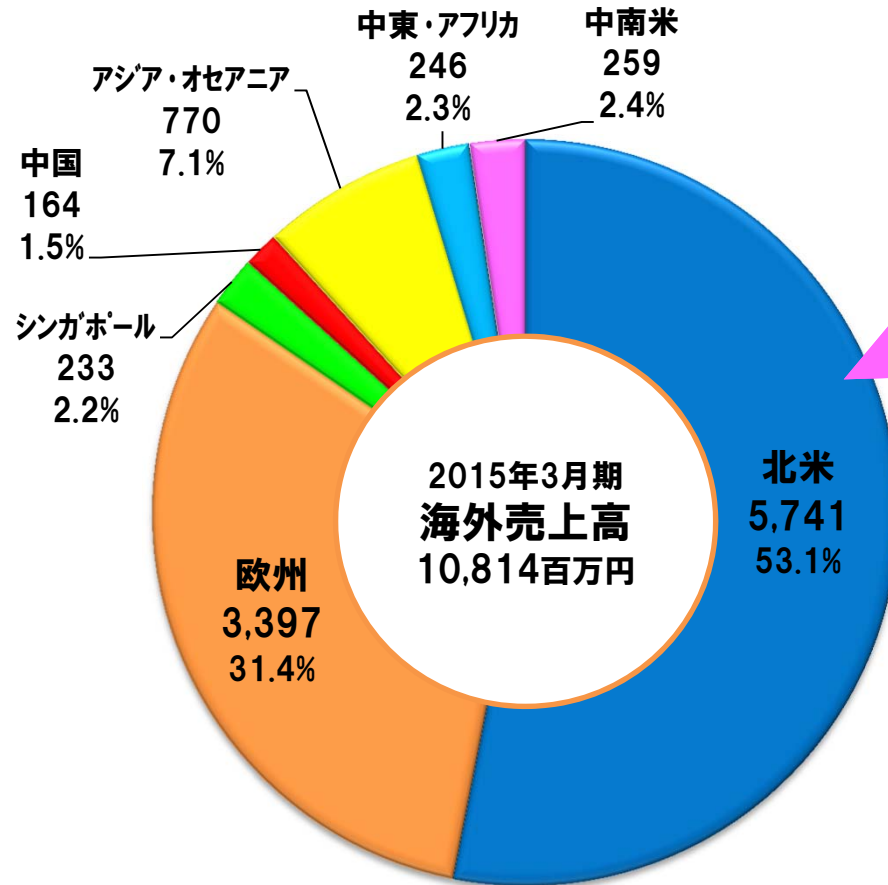
- ◆国内: $\Delta 14.0$ 億円 ($\Delta 4.4\%$)
- ◆海外: $+ 4.5$ 億円 ($+ 4.4\%$)
- ◆合計: $\Delta 9.5$ 億円 ($\Delta 2.2\%$)

販売市場別—国内市場



国内市場別	売上高(百万円)	増減率(%)
戸建住宅	5,365	△11.4
集合住宅	16,631	△4.8
ケア	6,184	2.8
その他	2,554	△1.6
合計	30,736	△4.4

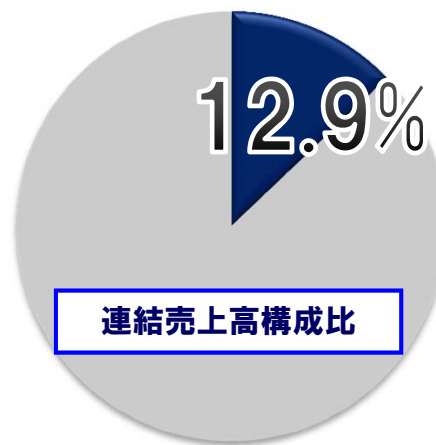
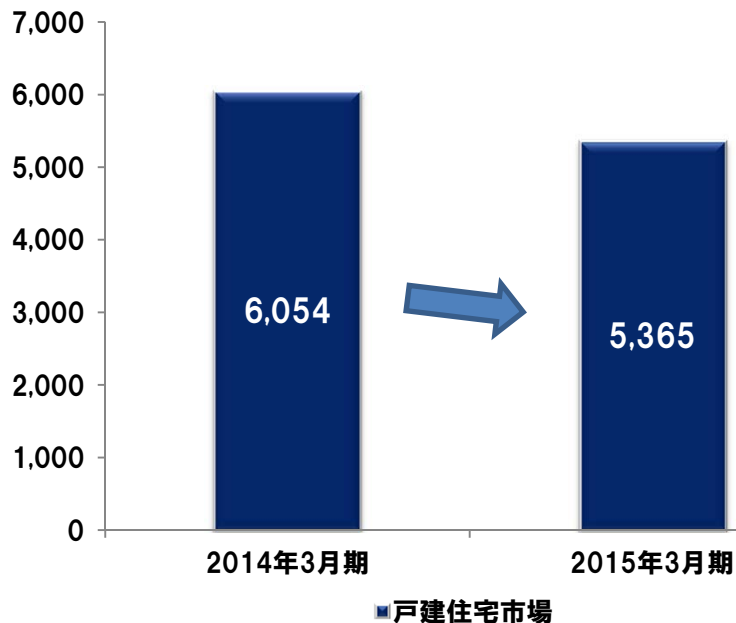
販売地域別－海外地域別



海外地域別	売上高 (百万円)	増減率 (%)
北米	5,741	7.0
欧州	3,397	△1.1
シンガポール	233	28.0
中国	164	154.8
アジア・オセアニア	770	1.7
中東・アフリカ	246	△24.4
中南米	259	11.6
合計	10,814	4.4

市場概況 一戸建住宅市場

(百万円)



(百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	増減率
一戸建住宅市場	6,054	5,365	△11.4%

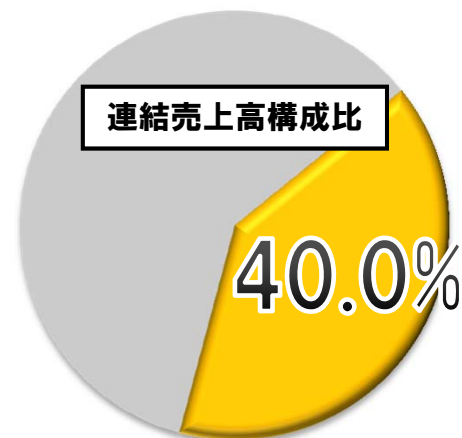
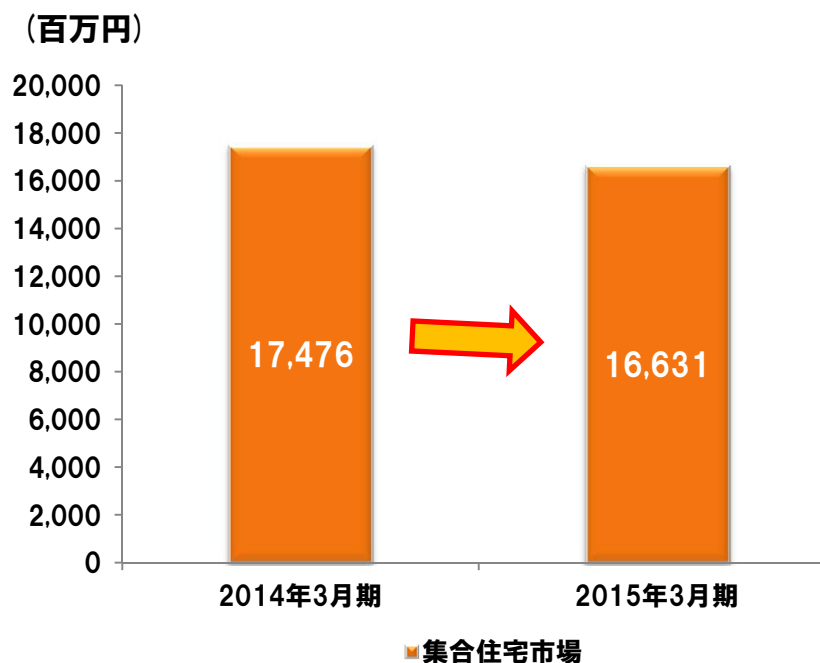
新築市場

- ・当社の納入時期を勘案した新設一戸建住宅の着工戸数は前期と比較して大幅に減少。
- ・消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動で、テレビドアホンの販売は減少。

リニューアル市場

- ・ROCO録画等を家電量販店へ積極的に提案するも他社製品攻勢が激しく販売が減少。

市場概況－集合住宅市場



(百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	増減率
集合住宅市場	17,476	16,631	△4.8%

新築市場

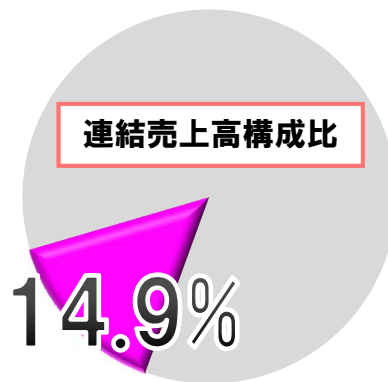
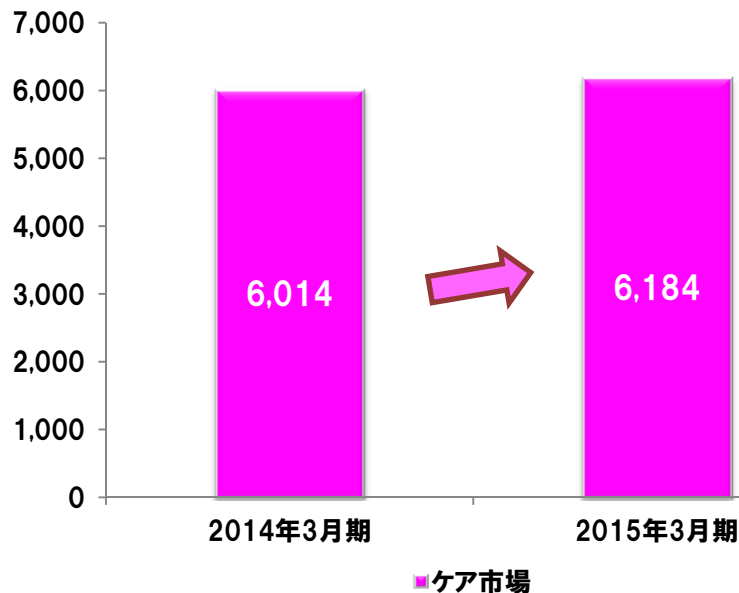
- ・当社の納入時期を勘案した新設共同住宅着工戸数は前期と比較して増加。
- ・主力集合住宅向けシステムの販売は、他社攻勢厳しく売上は微減。

リニューアル市場

- ・消費税引き上げ前の駆け込み需要の反動から売上は減少。

市場概況－ケア市場

(百万円)



(百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	増減率
ケア市場	6,014	6,184	2.8%

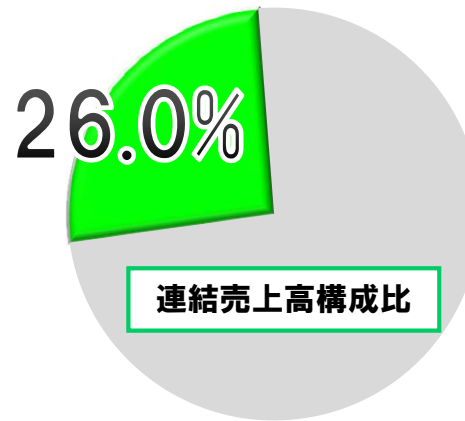
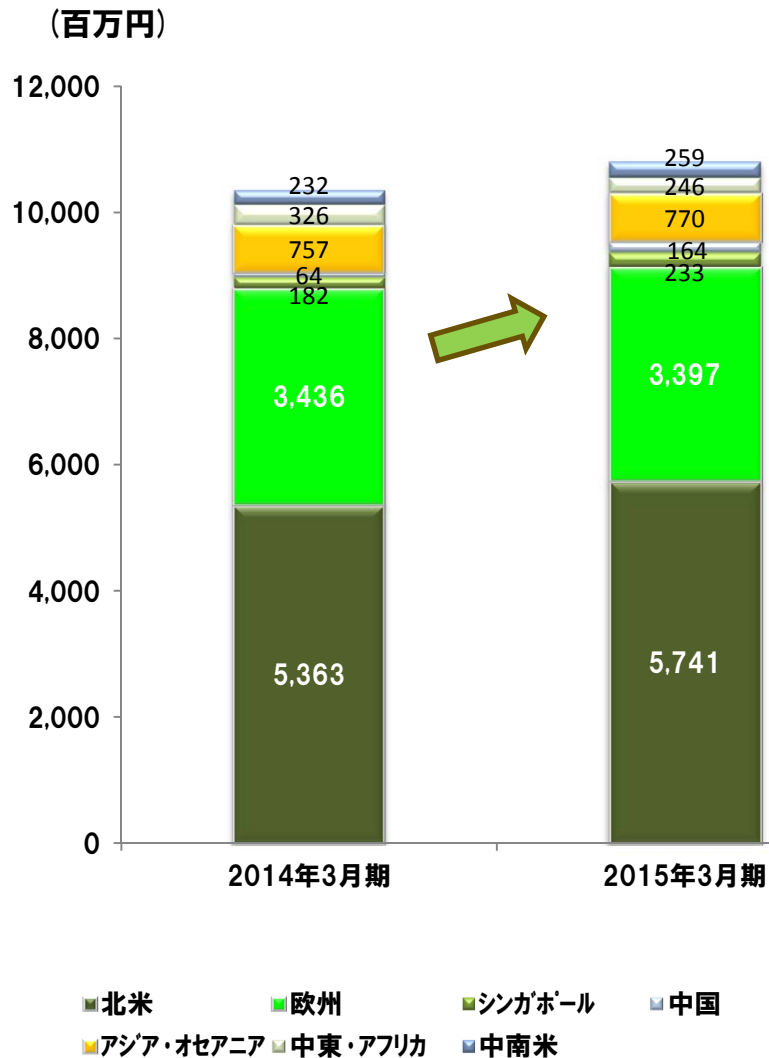
新築市場

- ・「地域医療再生基金」に伴う、新築病院着工件数の増加とともに、新型ナースコールシステム「Vi-nurse」の市場投入効果等により、病院への売上が増加。

リニューアル市場

- ・新型ナースコールシステム「Vi-nurse」の提案活動が功を奏し、大型病院への売上が増加。

市場概況－海外市場

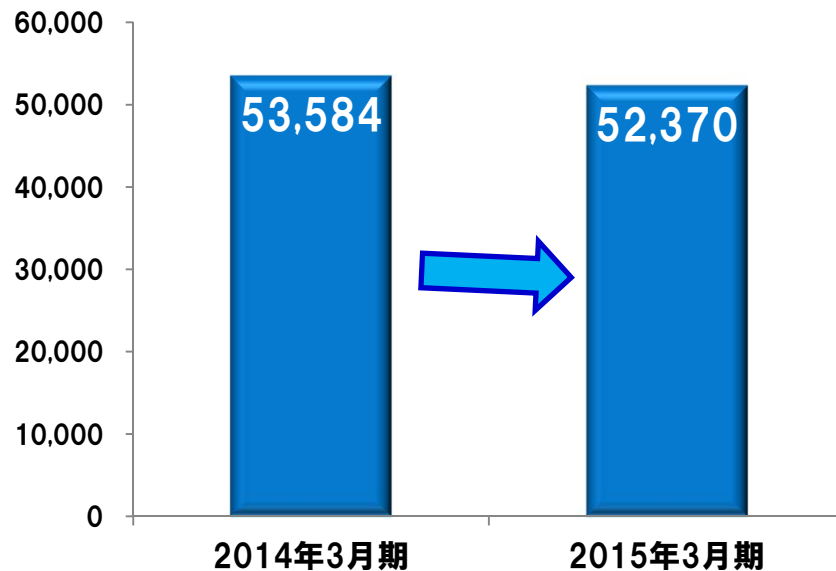


(百万円)

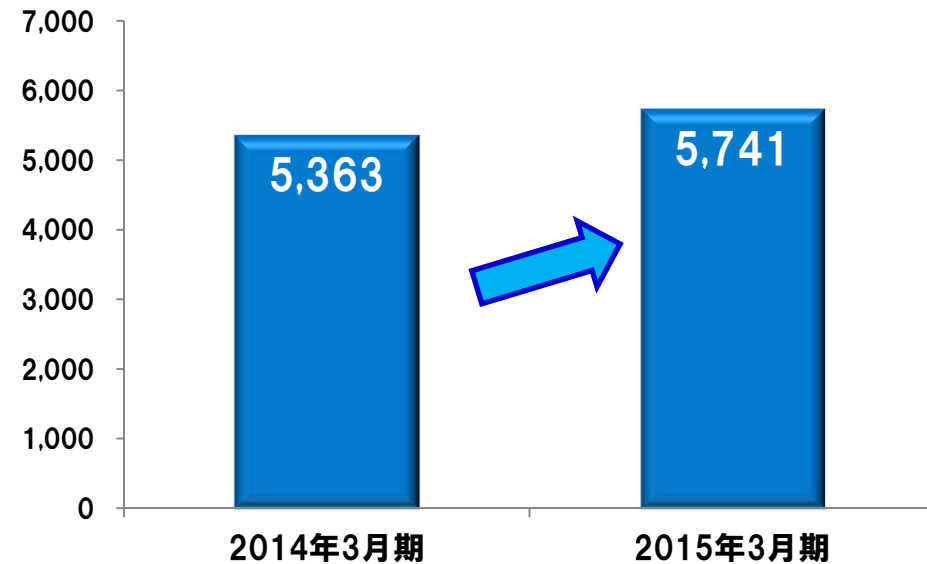
海外市場	2014年3月期	2015年3月期	増減率
北米	5,363	5,741	7.0%
欧州	3,436	3,397	△1.1%
シンガポール	182	233	28.0%
中国	64	164	154.8%
アジア・オセアニア (アイホンPTY含む)	757	770	1.7%
中東・アフリカ	326	246	△24.4%
中南米	232	259	11.6%
合計	10,363	10,814	4.4%

市場概況－北米市場

(千ドル)



(百万円)

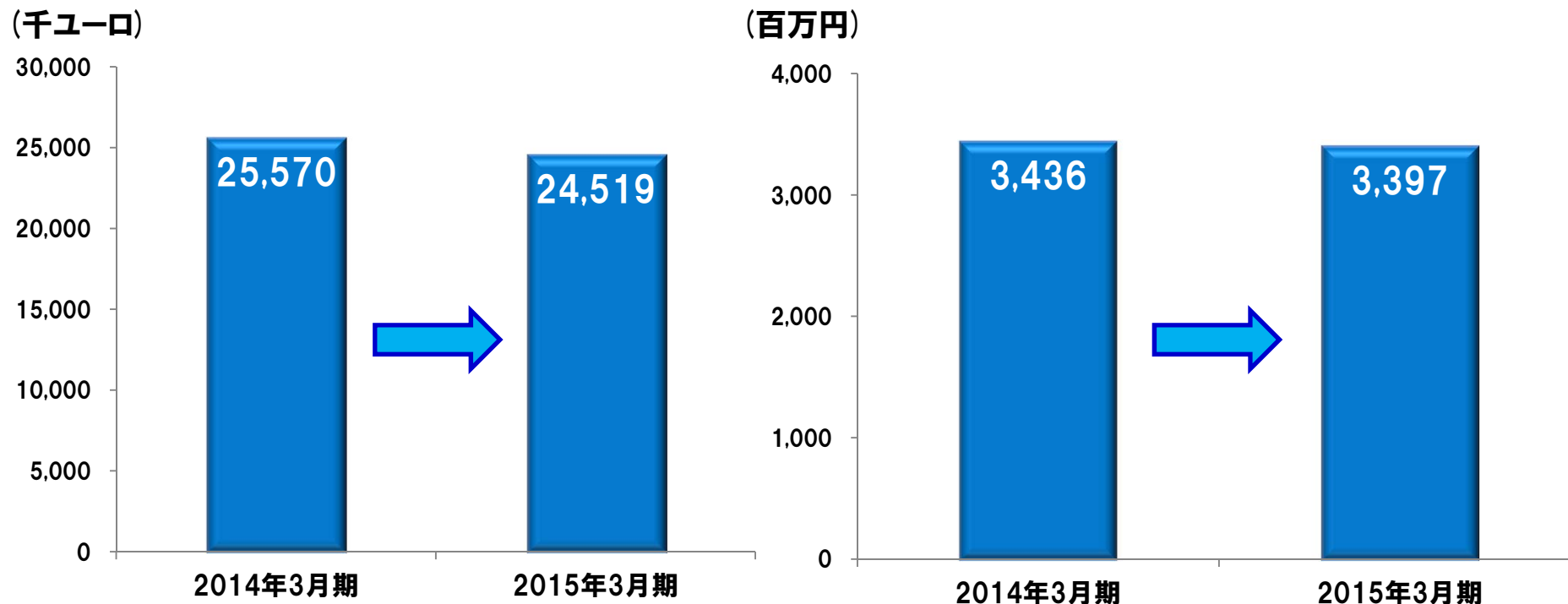


北米市場

	2014年3月期	2015年3月期	増加率
現地通貨	53,584千ドル	52,370千ドル	△2.3%
円貨	5,363百万円	5,741百万円	7.0%

物件受注活動として、IS-IPシステムやJMシリーズの積極的な提案活動を進める中、米国社会におけるセキュリティニーズの高まりに一服感が見受けられ、販売が減少し、現地通貨ベースでは前期比2.3%の減少。円貨においては、前期比7.0%の増加。

市場概況－欧州市場

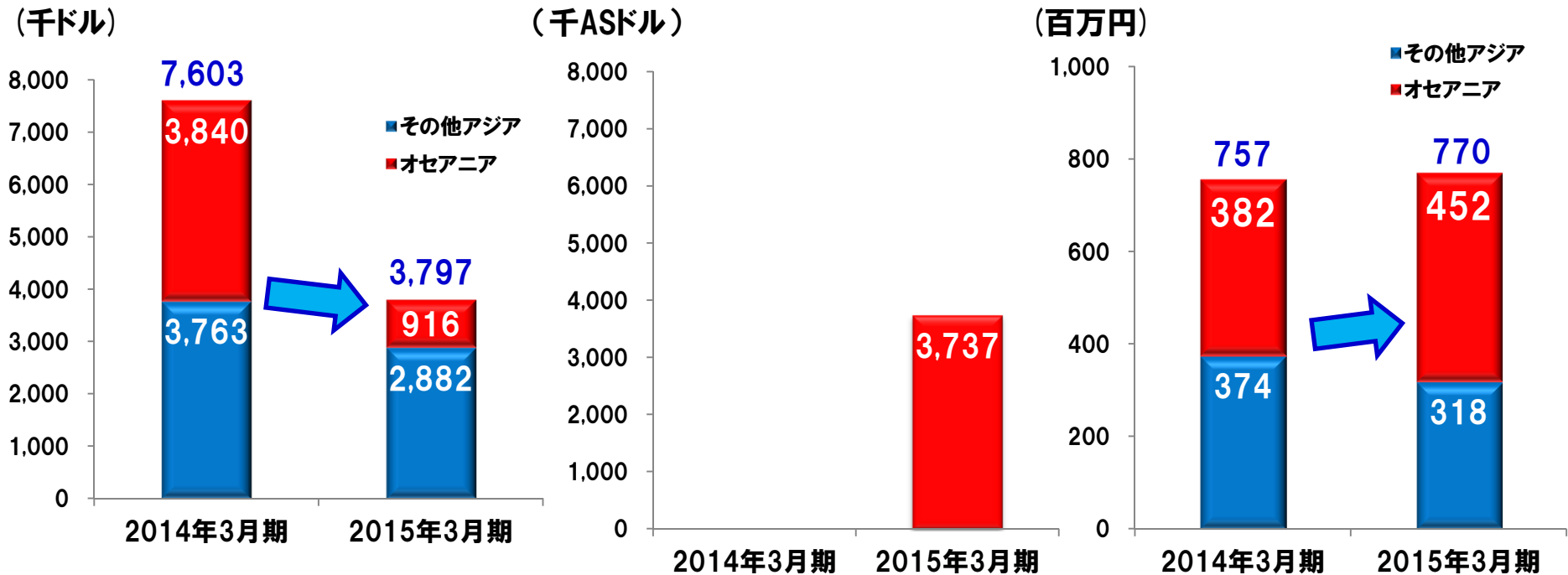


欧州市場

	2014年3月期	2015年3月期	増加率
現地通貨	25,570千ユーロ	24,519千ユーロ	△4.1%
円貨	3,436百万円	3,397百万円	△1.1%

景気の低迷から、厳しい環境が続く中、主要販売国であるフランスでの住宅着工戸数の減少から現地通貨ベースで前期比4.1%の減少。円貨においては1.1%の減少。

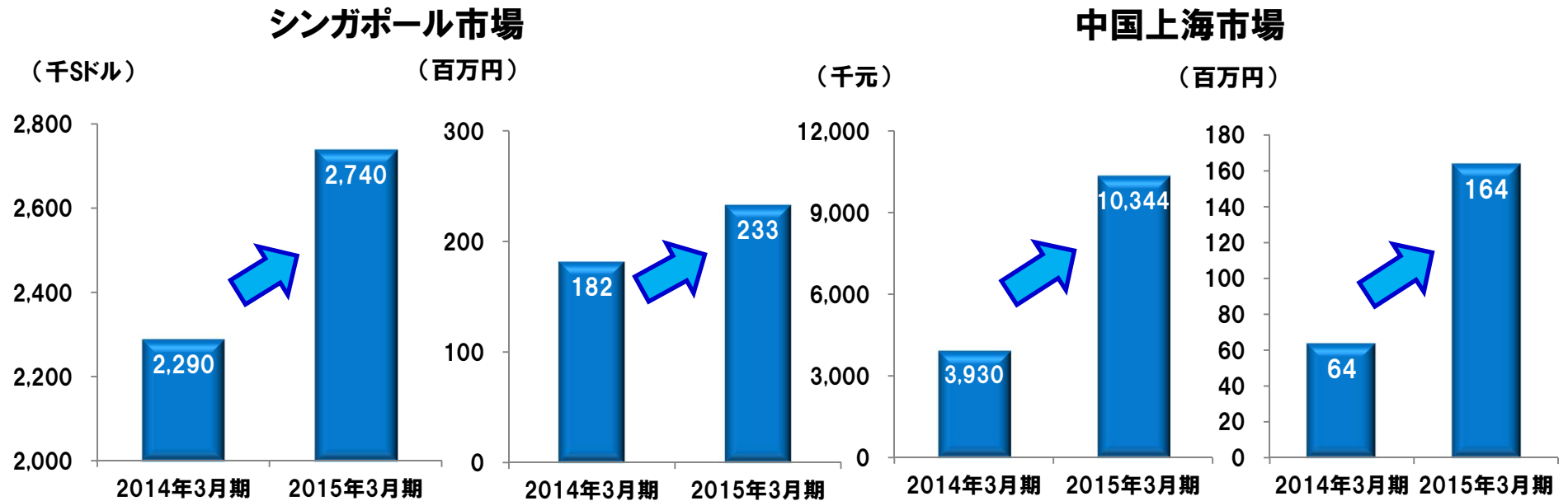
市場概況－アジア・オセアニア市場



アジア・オセアニア市場

	2014年3月期	2015年3月期	増加率
現地通貨(ドル)	7,603千ドル	3,797千ドル	△50.0%
現地通貨(ASドル)	-	3,737千ASドル	-
円貨	757百万円	770百万円	1.7%

市場概況－シンガポール・中国市場

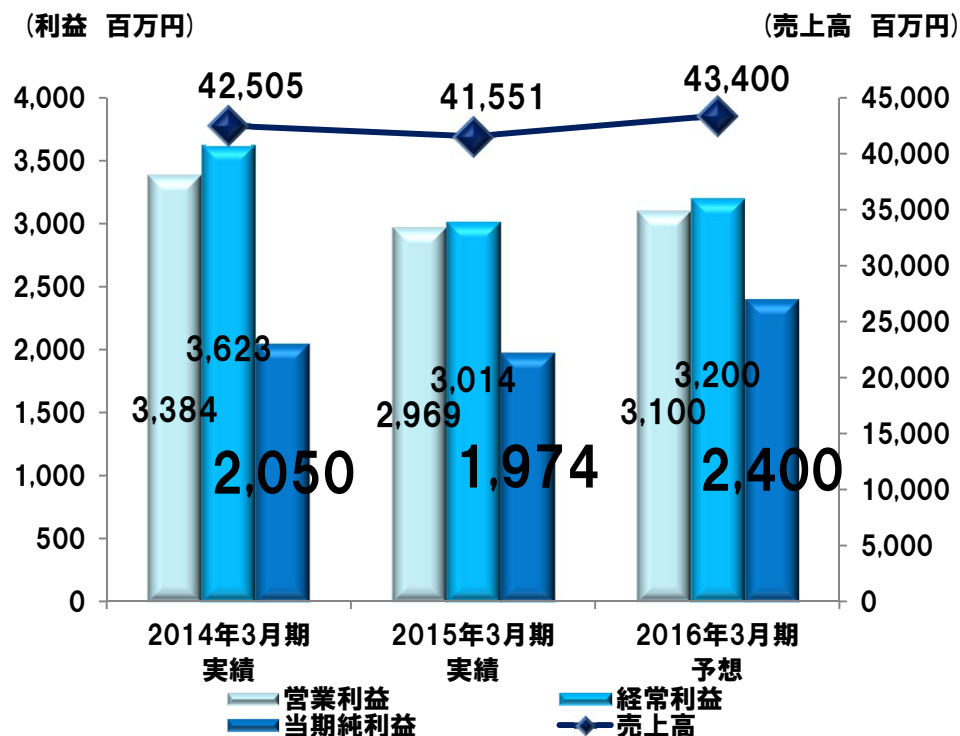


シンガポール市場				中国上海市場			
	2014年3月期	2015年3月期	増加率		2014年3月期	2015年3月期	増加率
現地通貨	2,290千ドル	2,740千ドル	19.7%	現地通貨	3,930千元	10,344千元	163.2%
円貨	182百万円	233百万円	28.0%	円貨	64百万円	164百万円	154.8%

2016年3月期(連結)業績見通し

2016年3月期業績予想

(百万円)



	2014年3月期 実績	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想
売上高	42,505	41,551	43,400
営業利益	3,384	2,969	3,100
経常利益	3,623	3,014	3,200
当期純利益	2,050	1,974	2,400

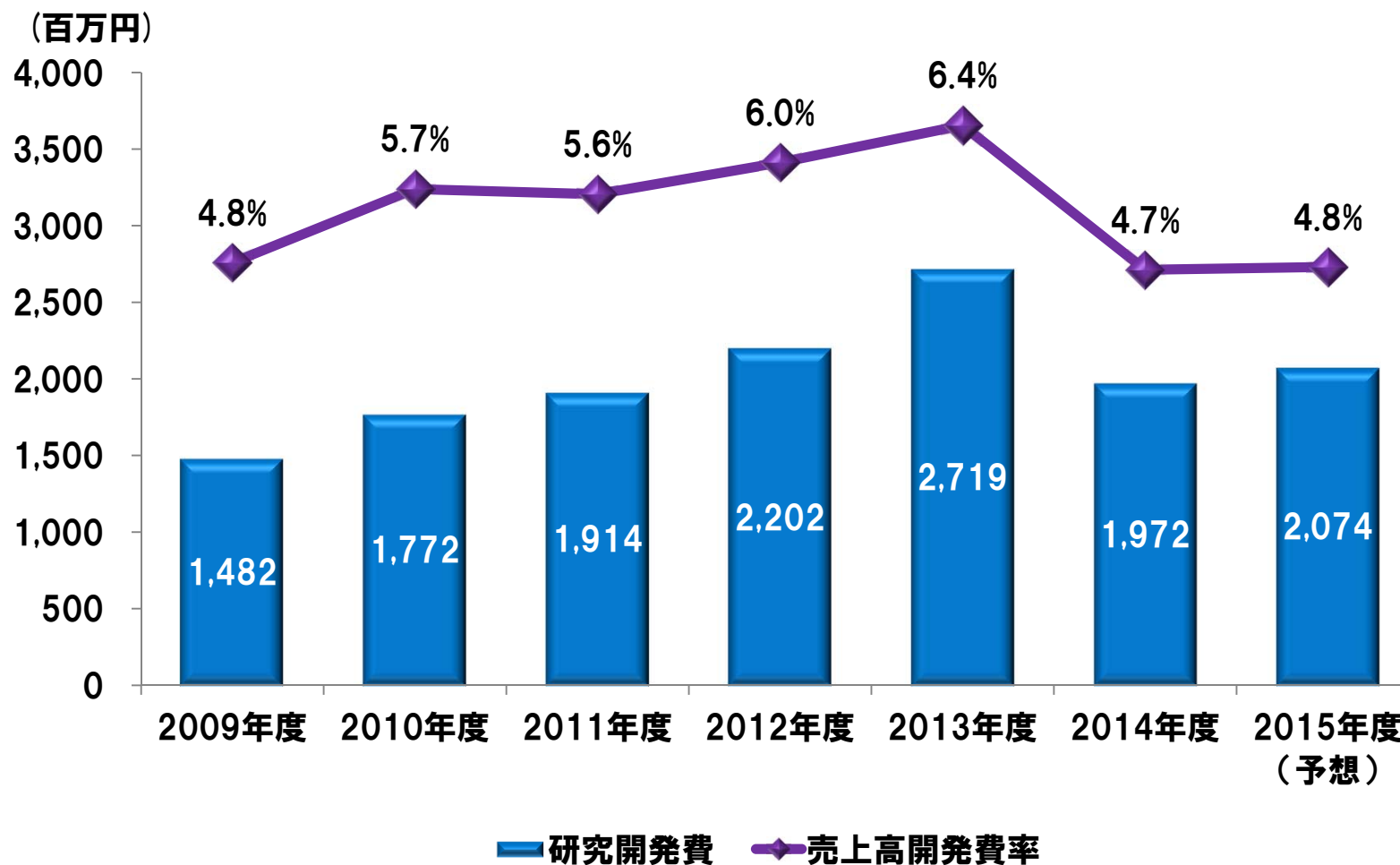
<ポイント>

- 海外市場での施策とネットワーク対応商品の市場導入で増収を見込む。
 - 消費税率引き上げ前の駆け込み需要等の影響が和らぎ、リニューアル物件数の回復が予測される。
 - 海外市場での物件受注活動と販路拡大を推進することで、売上増加を見込む。
 - 付加価値の高いネットワーク対応商品の市場導入を推進し、売上増加を見込む。
- 増益見込みは、増収による利益の増加による
 - 増収による利益の増加とコスト競争力の強化を推し、営業利益、経常利益、当期純利益すべてにおいて増益を見込む。

<2016年3月期業績アップ率>

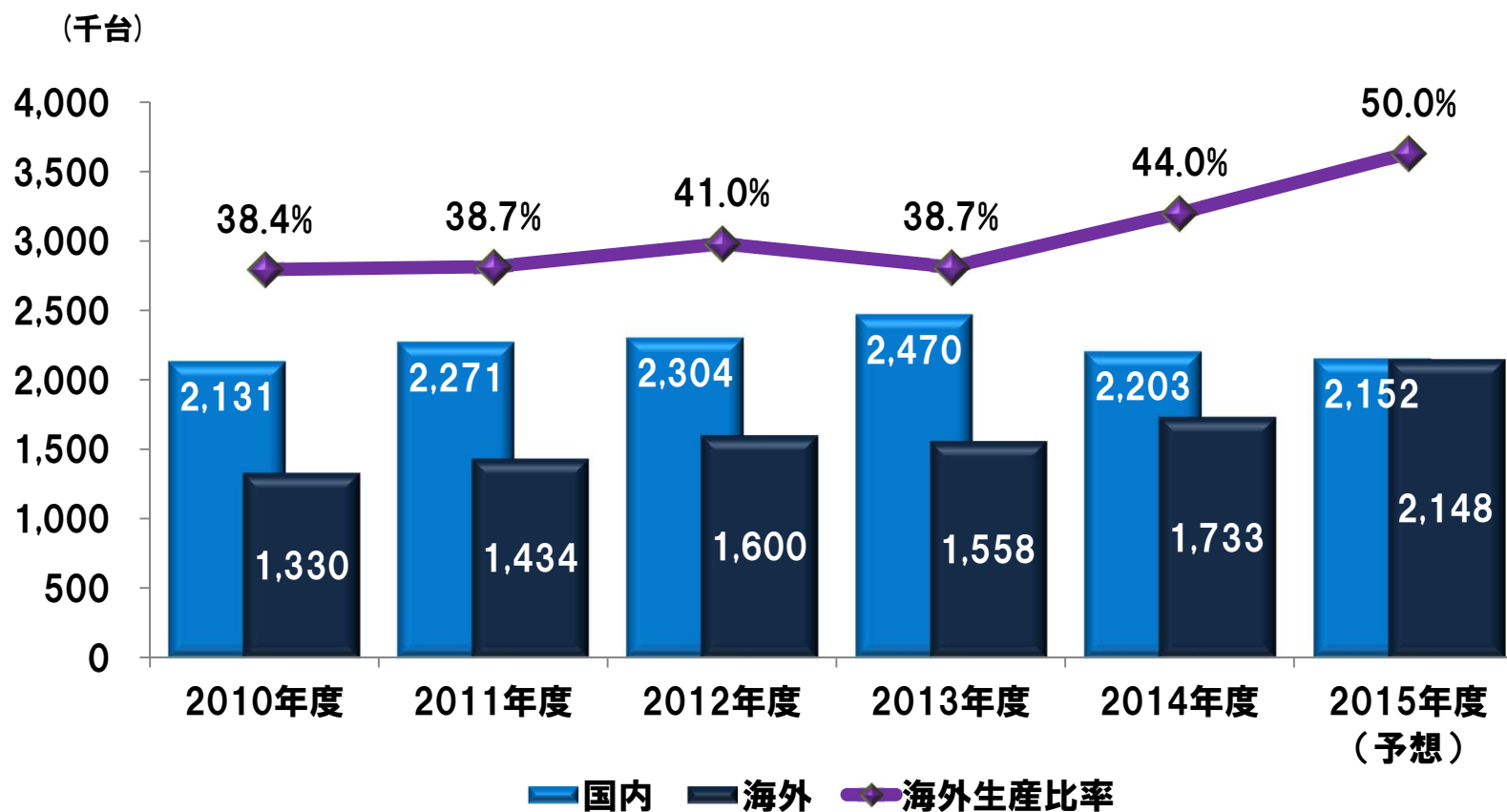
- ◆ 連結売上高 : 前期比 4.4%増
- ◆ 営業利益高 : 前期比 4.4%増
- ◆ 経常利益高 : 前期比 6.2%増
- ◆ 当期純利益 : 前期比 21.5%増

研究開発費の推移



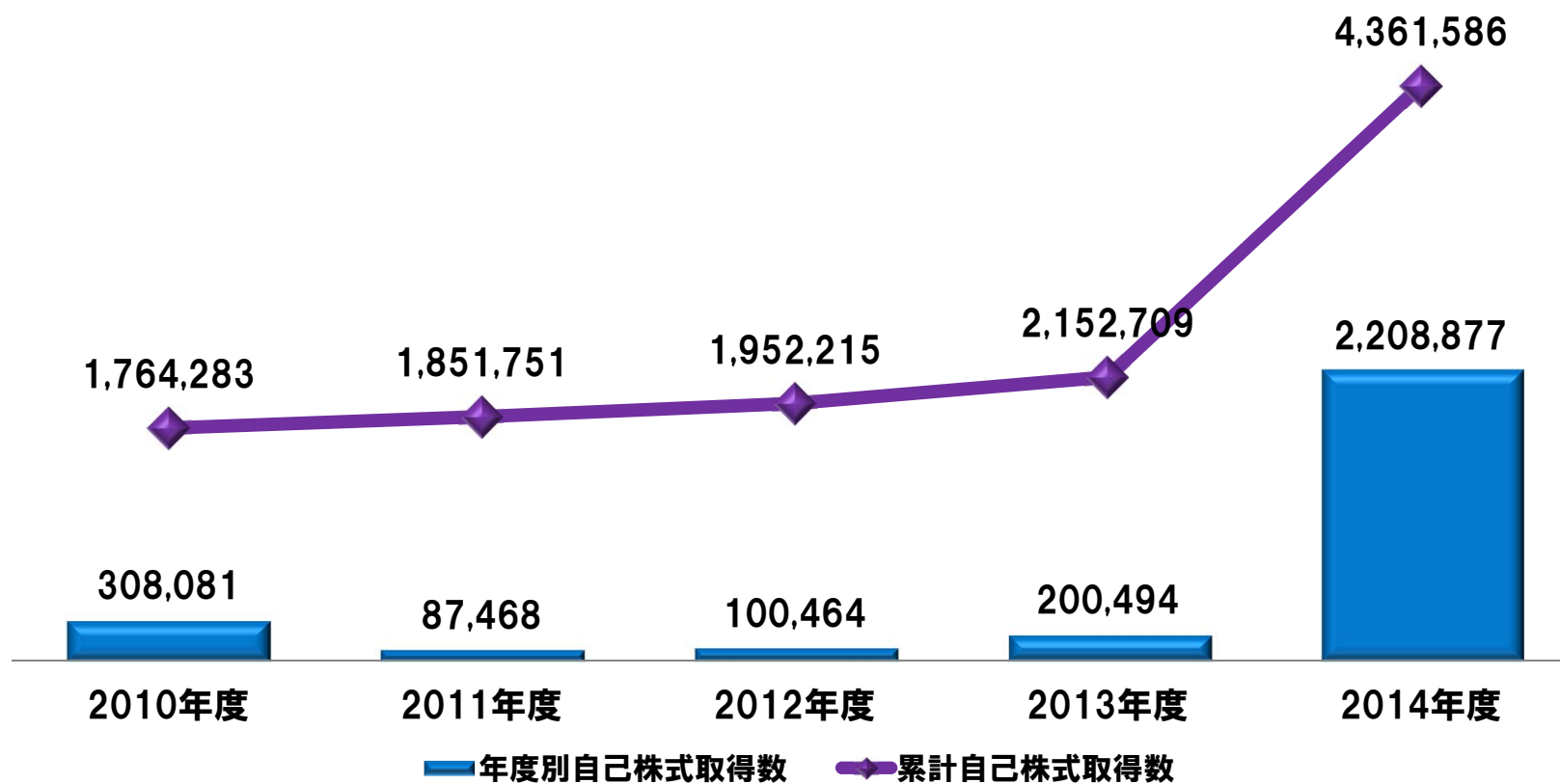
生産体制の状況

2015年3月期末の海外生産比率(台数)実績は44.0%
2016年3月期末には50%を目指す



自己株式の取得状況

(単位:株)



自己株式の取得及び保有並びに消却に係る基本方針について

当社は、この度2015年5月12日開催の取締役会において、「自己株式の取得及び保有並びに消却に係る基本方針」を決定いたしました。

自己株式の取得及び保有並びに消却に係る基本方針

当社の資本政策及び株主の皆様への利益還元の一環として実施する自己株式の取得に対して、その取得目的及び保有目的を明確にするとともに、その取り扱いについての方針を定めるものとする。

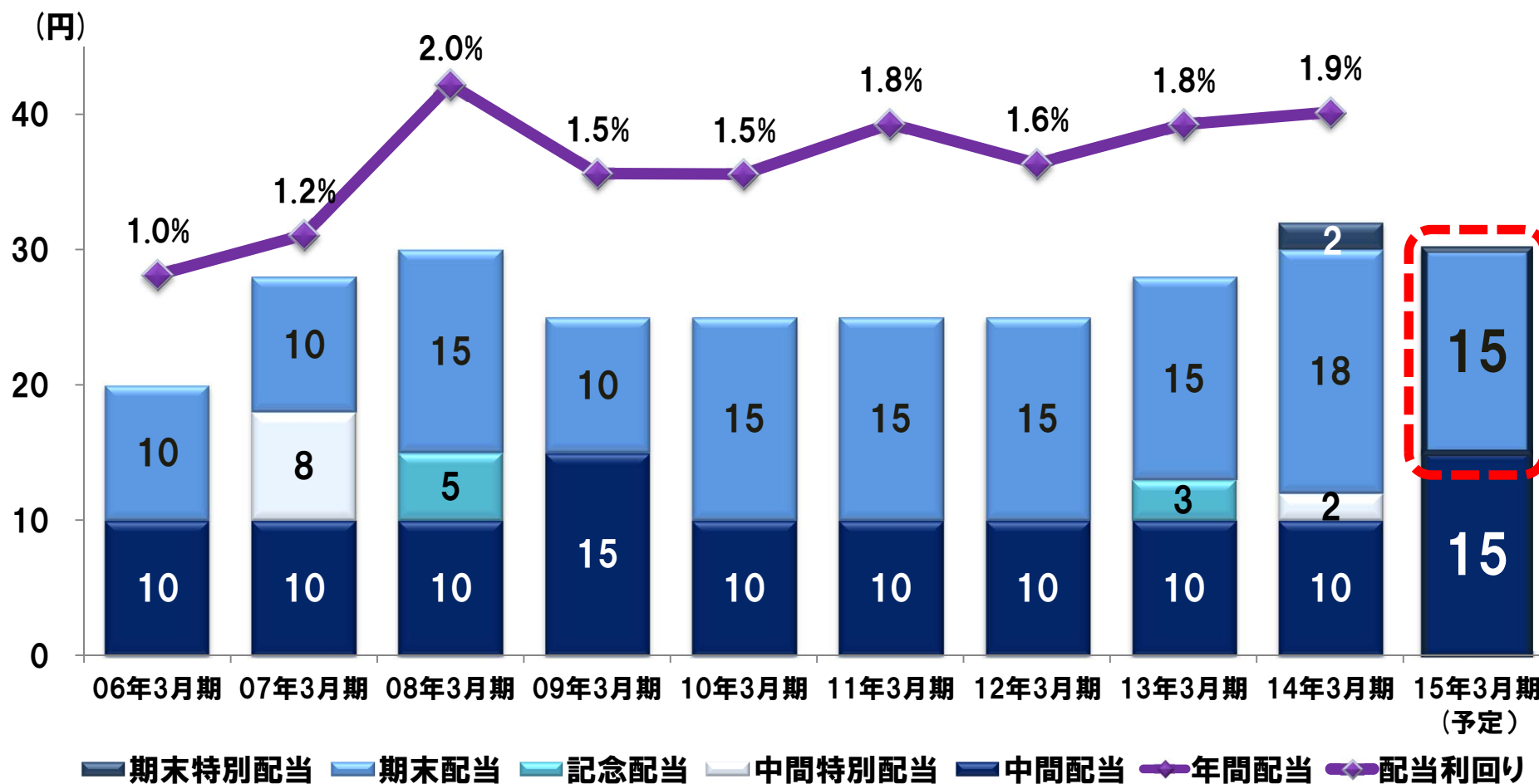
1. 自己株式の取得に係る基本方針

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を実現するとともに、経営の重要な政策と位置づけている株主の皆様に対する利益還元の一環として、自己株式の取得を弾力的に行うものとする。

2. 自己株式の保有・消却に係る基本方針

機動的及び戦略的な経営の実現のため、事業投資資金(事業提携・M&A)を確保することを目的とし、保有するものとする。なお、自己株式の保有については、発行済株式総数の10%程度を目安とし、それを超過する部分は原則、毎期末に消却を行うものとする。

配当の推移



中期経営計画において当社グループが目指す姿

2013年度～2015年度

「輝け！アイホン ～真の輝きを求めて～」

中期経営計画の基本方針として、「**利益体質の強化**」を掲げ、以下の重点戦略を推進中です

重点戦略

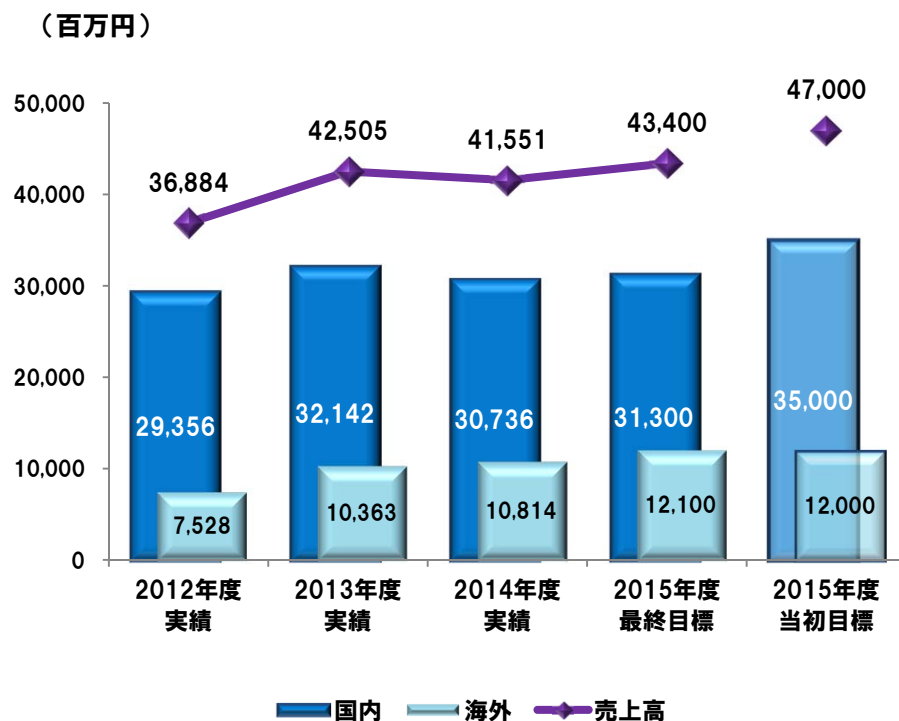
- 1) グローバル化の推進
- 2) ネットワーク対応の市場創造
- 3) コスト競争力の強化
- 4) 生産技術の改革
- 5) 源流管理による品質保証
- 6) 企業体質の強化

当社グループ一丸となって今回の中期経営計画を推進することで、社会やステークホルダーにとって真に輝くアイホンを目指します

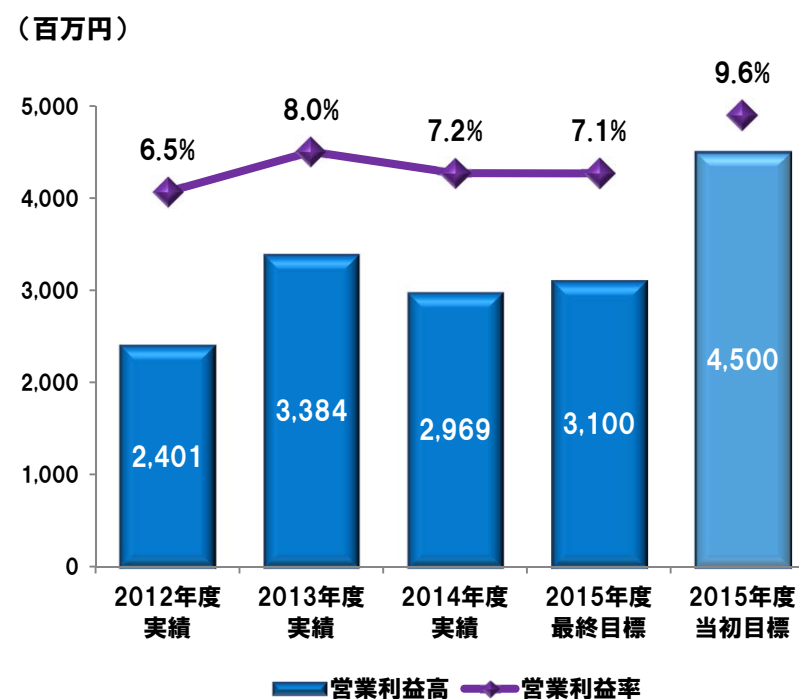
中期経営計画目標数値

当社は、2015年3月期の業績結果及び経営環境の変化等を勘案し、2015年5月1日に第5次中期経営計画の修正を公表。

売上高目標

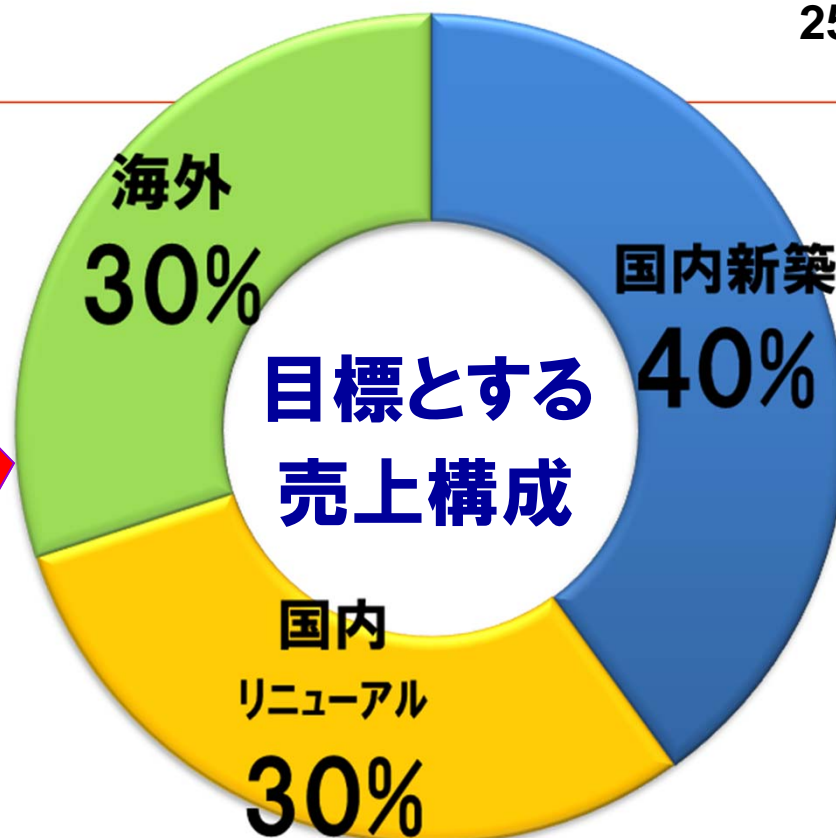
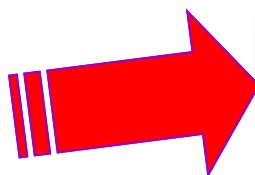
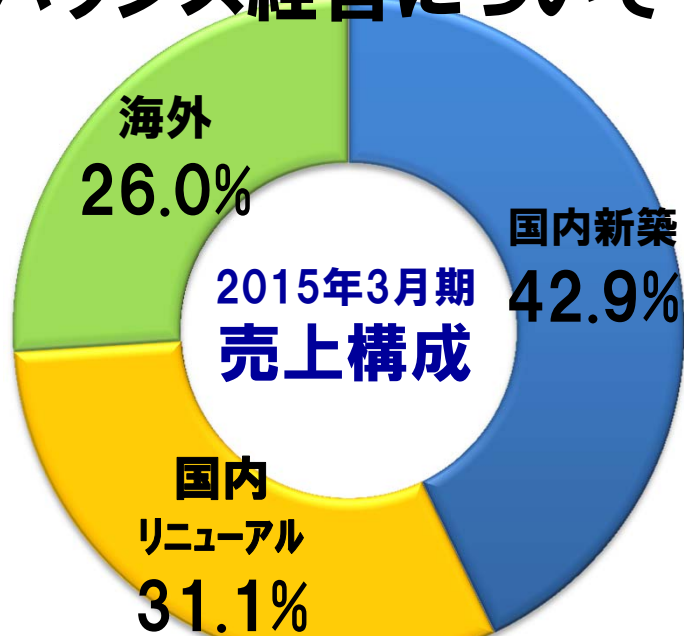


営業利益目標



(2015.5.1公表分)

バランス経営について



バランス経営

国内新築市場に偏った売上構成を見直し、リニューアル市場や海外市場での売上を拡大することでバランス経営を進める。

選択と集中

バランス経営を進めるために、商品戦略や投資等において、選択と集中を進める。

トピックス(新商品のご案内①)

**集合住宅インターホンシステム「VIXUS1Pr(ヴィクサス ワンペア)」を
2015年1月に発売!**

マンションサービスの多様化や高齢化が進展する社会を背景に、省配線で充実したセキュリティ機能を実現し、使う人の利便性を兼ね備えた新しい集合住宅インターホンシステム「VIXUS1Pr(ヴィクサスワンペア)」を2015年1月に発売いたしました。

集合住宅システム

VIXUS **1** Pr
ヴィクサス ワンペア



トピックス(新商品のご案内②)

27

お手持ちのスマートフォンやタブレット端末で来客対応ができるスマートフォン連動テレビドアホン「ROCOワイドスマホ（ロコワイドスマホ）」を2015年5月に発売！

テレビドアホン(ROCOワイドスマホ)とスマートフォンやタブレット(Android OS・iOS搭載)が、住宅内に設置された無線LANルータ(アクセスポイント)経由で連携可能。スマートフォンやタブレットに専用のインターホンアプリケーション(無料)をインストールして、来訪者の映像確認や通話対応、電気錠の解錠などができます。

ROCOワイドスマホ

2015年5月
発売!

お手持ちのスマホで来客対応できるテレビドアホン登場。

トピックス(新商品のご案内③)

「静電式タッチセンサー」を搭載した新しいワイヤレステレビドアホン
「ROCOタッチポータブル」を2015年6月に発売予定!

軽くふれるだけで操作ができる静電式タッチセンサーを採用し、これまでにないフラットなデザインを実現した新しいワイヤレステレビドアホンを2015年の6月に発売する予定です。

タッチセンサー式ワイヤレステレビドアホン

ROCOタッチポータブル

2015年6月
発売!



Communication
&
Security

アイホン

弊社ホームページ

<http://www.aiphone.co.jp/>

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性のあることをご承知おき下さい。